



## CONTENTS

- ② がんばってますか 組合長です！
- ③ 表紙紹介 小菊目ぞろえ会
- ④ ニュース&トピックス  
庄内メロントップセールス 東京・大阪で ほか
- ⑧ 営農のしおり  
水田管理の総仕上げ  
園芸だより  
作物にあった展着剤の選択と有効な使用方法
- ⑨ 園芸生産拡大への道  
「アスパラガス」2法人5個人が新規作付  
および面積拡大へ
- ⑩ みどりサービス通信  
マルノー山形レディースクラブ考案！  
夏を乗り切るスタミナレシピ  
女性大学 マナビーマイト2017 第2回講座
- ⑪ みどりちゃんの共済講座  
アンパンマン交通安全キャラバン  
JA健康寿命100歳プロジェクト  
JA庄内みどりウオーキング倶楽部参加募集
- ⑫ みんなのふれあいひろば  
読者からのおたより
- ⑬ ベジタブルライフ ナス  
健康百科 エコノミークラス症候群
- ⑭ クロスワードパズル  
米粉でつくろうかんたんレシピ集  
スフレチーズケーキ
- ⑮ インフォメーション  
理事会だより  
あとがき
- ⑯ 生活課おすすめ！イベントのご案内  
JA庄内みどりまるごと“食”の旅  
ジュエリーフェア 2017

## 今月の表紙

### 出荷最盛期に向け準備万端 小菊目ぞろえ会

当JA花き部会切り花専門部小菊班は7月21日、本楯地区で小菊の出荷目ぞろえ会を開催しました。同班の小松久夫代表は「一人一人初心を忘れずに最盛期の出荷に臨みたい」とあいさつ。生産者やJA職員、JA全農山形、酒田農業技術普及課の担当者など17人が参加し、等階級や箱詰め方法の確認を行いました。

今年は春先からの低温が影響したため、草丈が短いものも若干みられますが、病害虫も少なく高品質となっています。出荷時期は昨年より10日ほど遅く、7月25日から8月10日ころまで。

当JA管内では転作田を利用した栽培を中心に、今年度は生産者17人が約2.6haで栽培。秋のお彼岸向けの出荷も合わせ全体で48万本の出荷を見込んでいます。



▲小松久夫代表（左）と飯塚卓矢さん



▲ほ場の様子。まっすぐに伸びた緑色の葉が、青い空によく映えます



▲目ぞろえ会で品質や規格などを確認しました